

あおやぎレポート

第5号

令和元年 8 月
越前町議会議員
青柳良彦

平素は、たいへんお世話になっております。

去る 4 月 12 日の臨時議会におきまして、不肖ながら私が議長の要職を担うこととなりました。責任の重さを日々痛感するとともに、意欲もまた湧き出してまいりました。

さて「令和」は、春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本でありたいとの願いを込め、決定されたと聞いております。

様々な問題・課題を抱える町の行財政ですが、町民の皆さまが少しでも「令和」の願いに近づけるような町を目指し、議員一丸となってまちづくりに取り組んでいく所存です。また、議会と町民の皆さまとの距離を縮めるために、情報発信のあり方や皆さまの議会及び議員に対しての問題・課題を把握した上で、「役に立つ」と実感される議会を目指します。

そのためにまず、18 歳以上の町民を対象に年代別男女別に 2000 名を抽出し「越前町議会に関するアンケート調査」を行い、そのデータを分析し、議会改革に繋げていきます。

アンケート調査に選ばれた方には、是非ともご理解の上、ご協力お願いいたします。

++++++ 主 な 内 容 ++++++

- 2 ページ・・・・・・・・・・3 月定例会補正予算関連
- 3 ページ・・・・・・・・・・平成 31 年度当初予算
- 4 ～ 5 ページ・・・・・・・・一般質問
- 6 ページ・・・・・・・・・・6 月定例会
- 7 ページ・・・・・・・・・・新庁舎建設・天王川河川改修状況
- 8 ページ・・・・・・・・・・その他・あとがき

3 月 定 例 会

会期：3月6日～20日

平成 30 年度 3 月補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 2 億 6,833 万円を追加し、歳入歳出予算の総額を 140 億 6,397 万 7 千円とするものです。

当初予算は、129 億 6,700 万円でしたので今年度予算は、最終的に 10 億 9,697 万 7 千円追加されたことになります。

主なものは、①社会資本整備総合交付金事業・・・1 億 9,800 万円

②災害復旧事業・・・・・・・・・・1 億 9,472 万円

③小・中学校改修事業・・・・・・・・1 億 4,404 万円

【主な事業】

小・中学校改修事業・・・1 億 4,404 万円

冷房設備対応臨時特例交付金を受け、熱中症対策のため、朝日・織田・宮崎・越前の各小・中学校の特別教室等に空調設備を整備するための工事費等です。普通教室には、空調設備は設置済みです。

〔内訳〕・・・小学校 5,408 万 4 千円 中学校 8,995 万 6 千円

除雪事業（備品購入他）・・・2, 4 2 9 万 2 千円

社会資本整備総合交付金を受け、冬季間の安全・安心な交通の確保を図るため、除雪ドーザー（11t 級）を購入するための費用です。

〔財源〕・・・社会資本整備総合交付金 1,106 万 6 千円
一般財源 1,382 万 6 千円



プレミアム付商品券事業・・・192 万 9 千円

10 月からの消費税引き上げによる低所得者、子育て世帯の消費に与える影響を緩和し、地域における消費を喚起・下支えすることが目的の事業です。

販売対象者・・・4,600 人（推計）住民税非課税者 4,200 人

割引率・・・・・・・・20%

3 歳未満の子が属する世帯の世帯主 400 人

〔財源内訳〕・・・国庫支出金 164 万 4 千円

一般財源 28 万 5 千円

平成 31 年度当初予算

一般会計	・ ・ ・ ・ 1 3 3 億 3, 0 0 0 万円	・ ・ ・ ・ 2.8%増
特別会計	・ ・ ・ ・ 6 5 億 9, 2 9 2 万 5 千円	・ ・ ・ ・ 7.5%増
事業会計	・ ・ ・ ・ 8 億 5, 6 6 1 万 6 千円	・ ・ ・ ・ 2.7%減
合 計	・ ・ ・ ・ 2 0 7 億 7, 9 5 4 万 1 千円	・ ・ ・ ・ 4.0%増

今年度当初予算は、全体で前年比 4.0%の増加となりました。

大きな事業（支出）として、新庁舎建設、旧学校給食センターの解体、ホッケー場の改修工事、生涯学習センターと多目的ホール吊り天井の耐震改修工事、社会資本整備に係る費用があります。その結果、本年度町債発行額は 4 億 2,940 万円増加の 21 億 4,980 万円となり、累積町債残高は、159 億 1,919 万 7 千円となりました。

貯金である財政調整基金残高は、4 億 7,192 万 6,558 円積立てたことにより、32 億 973 万 8,226 円となりました。

【主な事業】

本庁舎整備事業（3ヶ年継続費）・ ・ ・ ・ 1 2 億 5, 3 3 6 万円

平成 3 0 年度 ・ ・ ・ ・ ・ 8 億 9, 5 2 0 万円

令和 2 年度 ・ ・ ・ ・ ・ 1 億 5, 3 5 6 万円



道路などの整備費 ・ ・ ・ 3 億 3, 7 4 4 万 4 千円

地区からの要望や点検結果に基づいて、道路の改良や橋梁の修繕、消雪設備の整備費用です。



旧学校給食センター整理事業 ・ ・ 1 億 3, 1 8 2 万 4 千円

統合学校給食センター建築に伴い、4 地区の旧学校給食センターの解体工事を行う事業費です。

社会教育施設耐震化事業 ・ ・ ・ 8, 1 8 3 万 8 千円

町生涯学習センターおよび多目的ホールの吊り天井の耐震改修工事費用です。



新庁舎と接続することにより法律上、新庁舎と一体化した建物と見なされることになったため、より厳しい規格が適用され、必要となった事業です。災害時の避難所としての機能を確保するためには、大事なことです。

一 般 質 問

3月定例会

今回は、町の公共施設のうち、建物 254 件の管理の方針等について質問いたしました。

公共施設の管理が非効率では？

問

254 件もある施設を所管する各行政部署が、一定の方針や相互の連携・調整を欠いたまま、公共施設の整備や運営、維持管理をばらばらに進めていることは、財政的に非効率であるだけでなく、公共施設が抱える問題や課題への対応を遅らせる要因になり、そのことは町民サービスの悪化に繋がることになる。

公共施設の機能を基にした的確な計画のもと、一元的管理が必要と考えるが所見は。

答

総務省の通知を受け、平成 28 年に「越前町公共施設等総合管理計画」を策定したが、概論に留まっており、個々の施設については記述されていない。

平成 32 年までに個別施設計画を作成するよう総務省より指示されている。

現在本町では、個々の施設は担当課が一番熟知しており、最も適切な管理が期待できるとの観点から、それらの管理は担当課がおこなっている。

今後、一元的管理をするために組織横断的な調整会議等を設置し、施設を管理していかなければならないと考えている。

耐用年数を超える施設の維持管理の財源は？

問

平成 28 年度末時点で、耐用年数が超過している施設が 254 件中 78 件、その内 10 年以上超過が 41 件、20 年以上超過が 23 件ある。

平成 28 年度末から 10 年以内に耐用年数を超える施設は、50 件あるが特徴として解体費用がより大きくなる鉄筋コンクリート造、鉄骨造りの施設が多いことである。

今後、大きな負担となる修繕・解体・建替えの財源確保についての考えは。

答

解体等の費用については、一般財源で賄われている。(国庫補助金等は無)

また、複数の施設と統合して新施設を建設する場合は、国庫補助金等が申請可能であり、新町建設計画に記載されていれば、合併特例債も充当できる。

長寿命化事業では公共施設等適正管理推進事業債により、充当率 50% の交付税算入が見込めるので、個別施設計画や長寿命化計画の作成を進める。

施設更新のための基金の創設は？

問

今後、多額の解体費用が見込まれるが、例えば利用予定のない町有地を売却しその売り払い代金を基金として積み立てるなど、新たな基金の創設についての考えは。

答

従来から、施設が老朽化すれば地方債を利用して建替えるという考えが主流で、繰上げ償還に要する費用は、減債基金で対応するという方法が一般的であり、更新費用のための基金の創設については、検討したことがない。

施設更新という目的を持った基金というのは、検討する余地がある。

従来施設の転用・利活用についての構想は？

問

今後、人口構成の変化による公共施設の余剰や不足が予測できるが、従来施設の実態調査を行った上で、施設の転用、利活用についての構想を検討すべき。

答

本町の公共施設の中には耐震強度がないために、解体せざるを得ない施設も多いが、転用することで他の施設として再利用することが可能な施設もある。

「公の施設の管理運営方針」でも、譲渡・転用・廃止といった分類で方針を立てているが、平成32年度までに個別施設計画を作成し、施設ごとに見直す必要がと考えている。

多くの困難を伴う公共施設改革に対する町長の意気込みは？

答

公共施設の改革は、これまでも、そしてこれからも本町にとって避けては通れない、重要な案件であると認識している。維持管理費が年々増加し、財政を圧迫している。また、4町村が合併したことにより、小規模で同様な施設が複数存在し、維持するだけの利用料収入も見込めない状況となっている。

財政をスリム化し、硬直化の原因となる維持管理費を削減するには、公共施設の統廃合という、公共施設改革が必要である。改革には、痛みが伴うが町民のご理解をいただきながら、積極的に取り組んでいく。

公共施設の統廃合は、社会的・財政的にどんなに正しいとしても、地元になんて納得してもらうことは多くの困難を伴います。越前町も例外ではなく、合併により機能の重複している施設が多くあります。今後、少子高齢化人口減少により、人口構成が大きく変化する中での公共施設のあり方は、様々な問題が提起されます。それにいかに対応していくかが、問われていると思います。

6 月 定 例 会

会期：6 月 11 日～14 日

歳入歳出予算の総額にそれぞれ 7 億 1,249 万 9 千円を追加し、予算の総額を 140 億 4,810 万 4 千円とするものです。

【主な事業】

ケーブルテレビ施設更改事業・・・4 億 3, 7 2 7 万 9 千円

織田地区のケーブル線を光インターネットサービスおよび超高細度映像（4 K・8 K）に対応するケーブル施設に再整備する事業です。

〔財源内訳〕 国庫支出金 1 億 5,227 万 8 千円 合併特例債 1 億 2,420 万円
地方債 1 億 5,220 万円 一般財源 860 万 1 千円

地域公共交通活性化事業・・・3 6 0 万円

高校生を持つ保護者の経済的負担や送迎負担を軽減している **通学支援補助金制度** について、補助者対象者の増加に伴い、補助金の増額をするものです。

〔財源内訳〕 地方債 20 万円 一般財源 340 万円

通学支援補助金制度は、現行では 6 万円以上かかる交通費について補助することになっていますが、この方式では補助金に対して上限がなく、極端な例として北陸新幹線が開通して県外の高校に越境通学することになった生徒には毎月数十万円の補助もあり得ることになってしまうので、議会では上限を設けるべきであるという意見があります。

海洋センター事業・・・3, 1 5 7 万 5 千円

B & G 体育館事務室棟が経年劣化により、雨漏れによる内装の腐食が進んでいるため、防水、内外装工事およびトイレの改修を行う事業費です。

〔財源内訳〕 地域海洋センター修繕助成金 1,560 万円
一般財源 1,597 万 5 千円



屋根の状況

新庁舎建設・天王川河川改修状況

新 庁 舎 建 設 状 況



現在は杭打ち工事が終わり、基礎・地中梁工事が始まっています。

33mの杭が45本、9mの杭が20本打ち込まれています。

生涯学習センターの正面入り口は、閉鎖されていますので、西側に仮の入り口が設置されています。

天 王 川 河 川 改 修 状 況



天王川河川改修には、平成27年度から30年度の5年間で8億7,200万円の予算が執行されました。

令和元年度は、天神橋左岸橋台と橋脚の工事をしています。

天神橋は、令和3年12月の供用開始の計画です。

今後、徳万橋と七房橋（歩道橋）の架け替え工事、二箇堰工事の大規模な工事が続きます。

そ の 他



4月25日に行われました新庁舎建設工事安全祈願祭に出席いたしました。

私が10歳当時（50年前）に建てられた、現在の庁舎の建替えに立ち会えることに、時の流れを感じるとともに、地元生まれ育ったご縁に感謝しつつ、工事の安全と災害に強い新庁舎ができることにより、いざという時の災害対策拠点として一日も早い完成を祈願いたしました。



7月28日に行われました第44回あさひまつりオープニングセレモニーでの一コマです。

今年は、庁舎建設のため、会場と期間が変更になり、雨のため1日順延となりましたが、行燈山車とお客さんの距離が縮まった感じがして、会場全体が密度の濃い雰囲気包まれていたような気がしました。

あとがき

議長に就任して約4カ月が経ちました。

以前は、議長は漠然と忙しいものと感じていましたが、思っていた以上に、多忙な毎日です。各種会合や各種団体の行事などでのあいさつなど、慣れないことが多く、まだまだ板についていないなど実感しています。

さて、冒頭にも書きましたが、皆さまと議会との距離を縮める方策を探るため、議会に対するアンケート調査をするようになりました。

すでにお手元にアンケート調査用紙が届いている方もいらっしゃると思います。

議会および議員に対する厳しい意見をお待ちしております。

調査結果は、分析・検討した上で公表いたします。

よろしく願っています。

青柳